

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 真空吸引器 (36778000)

特定保守管理医療機器

キック式吸引器

【警告】*

<使用方法>

- ・クサリがリングから外れている場合は、クサリを正しく付け直すこと。
(3 重のリング全てにクサリが掛かっていることを確認すること。)[吸引瓶が落下・破損するおそれがある]
- ・バンドクサリ付のリングに伸びや変形が見られる場合は、クサリを持たないこと。また、速やかに部品を交換すること。[吸引瓶が落下・破損するおそれがある]
- ・クサリを持って吸引瓶を架台から引き抜く場合は、ゆっくりと静かに持ち上げ、吸引瓶を手で支えながら行うこと。[急激に引き抜くとクサリがリングから外れたり、リングが変形するおそれがある]
- ・吸引物が一杯になった状態で吸引し続けると、フロート面に吸引物が付着してフロートが動かず、パイピング内に吸引物を吸い込む可能性があるので注意すること。

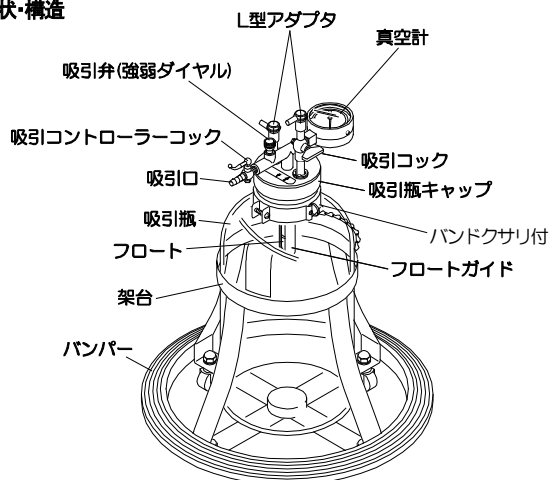
【禁忌・禁止】*

<使用方法>

- ・吸引瓶を架台から引き抜く以外の目的 (運搬等) でクサリを使用しないこと。[吸引瓶が落下・破損するおそれがある]

【形状・構造及び原理等】*

1. 形状・構造



- ※予備用吸引瓶付タイプがあります。
※吸引アダプタ形状は、医療ガス配管設備の接続口形状により異なります。
※吸引コックが左右 2 本の吸引パイプに付属するコック 2 ヶ付タイプがあります。(標準は 1 ヶ)

●付属品

吸引ホース 2本 (アダプタジョイント付)	吸引アダプタ付ホース 1本	アダプタジョイント 1個

2. 原理

1) 吸引圧力調整

本器の吸引アダプタ付ホースを医療ガス配管設備の吸引源に接続し、吸引コントローラーコックを開くと、吸引瓶内に負圧が生じ、吸引が可能となります。吸引弁の強弱ダイヤルを回すことで任意の吸引圧力に調整することができます。ただし、最大吸引圧力は各医療施設における医療ガス配管設備の吸引装置の能力に依存します。

2) オーバーフロー防止装置

吸引瓶内に貯溜された吸引物の液面が上昇すると、浮力によりフロートが浮上し、V シールに密着することで流路を塞ぎ、吸引が止まります。吸引が止まることで吸引物が医療ガス配管設備内に侵入することを防止します。

<仕様等>

- ・吸引性能は、各医療施設の医療ガス配管設備 (JIS T 7101) の吸引装置による。

	水封式の場合	油回転式の場合
標準圧力 (−kPa)	53.3±13.3	66.7±13.3

- ・吸引瓶容量 (最大目盛値) 4500mL (5L タイプ)

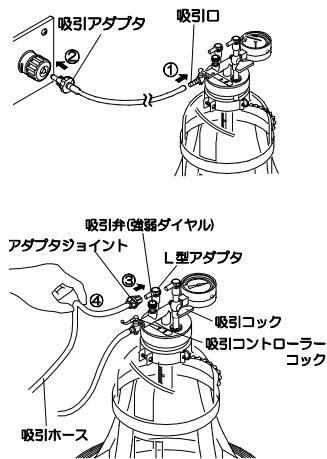
【使用目的又は効果】

本器は、病院の医療ガス配管設備から供給される陰圧を利用して、ベッドサイド又は手術室の患者の気道の異物除去、口腔内の不要溜まり液、手術中又は手術後の血液、洗浄・消毒液の吸取りなど、医療施設での治療・吸引処置に用いられる。

【使用方法等】

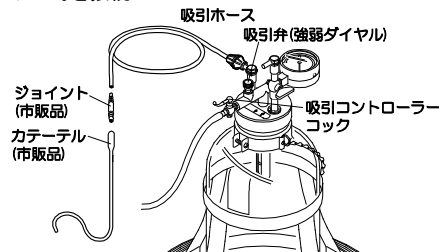
1. 準備

- ① 吸引アダプタ付ホースの先端を吸引口にしっかりと差し込んでください。
- ② 吸引アダプタ付ホースの吸引アダプタをアウトレットパネルの吸引用チャックに、“カチッ”と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- ③ 吸引コックが閉じていることを確認し、吸引コックがついていない側の L 型アダプタに、吸引ホースのアダプタジョイントを接続します。(吸引コック 2 ヶ付タイプの場合は、一方の吸引コックを開いて、コックを開いた側の L 型アダプタに接続します)
- ④ 吸引ホースを指で折り曲げて閉塞させ、吸引コントローラーコックを開き、真空計の指針を確認しながら吸引弁 (強弱ダイヤル) を回して、任意の吸引圧力に設定してください。設定できたら、一旦吸引コントローラーコックを閉じてください。



2. 使用方法

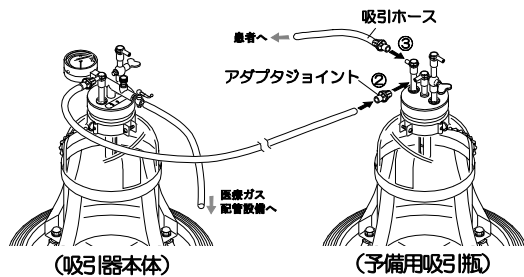
- ① 吸引ホースに、目的に合った市販品の吸引カテーテル等を接続してください。



- ② 吸引コントローラーコックを開き、吸引を開始してください。
- ③ 吸引圧力を調整する必要がある場合は、吸引弁 (強弱ダイヤル) を回して、任意の吸引圧力に調整してください。

3. 予備用吸引瓶を接続して使用する場合

- ① 1. 準備の①～③に従って、各接続を行ってください。
- ② 吸引ホースのもう一方にアダプタジョイントを取付け、予備用吸引瓶の中央の L 型アダプタに接続してください。
- ③ 吸引器本体及び予備用吸引瓶の吸引コックが閉じていることを確認し、予備用吸引瓶の吸引コックがついていない側の L 型アダプタに、もう一本の吸引ホースのアダプタジョイントを接続します。(吸引コック 2 ヶ付タイプの場合は、一方の吸引コックを開いて、コックを開いた側の L 型アダプタに接続します)



④1.準備の④～⑤及び2.使用方法に従って使用してください。

4.使用後の取扱いについて

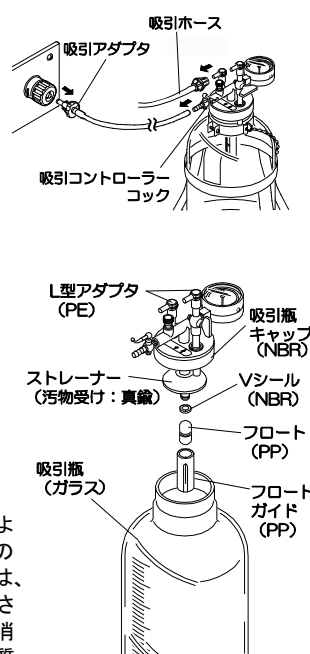
①吸引が終了したら、吸引コントローラ・コックを閉じて、吸引アダプタ付ホースをアウトレットパネルおよび吸引器本体の吸引口から取り外してください。その後、吸引ホースを取り外してください。

②吸引瓶キャップを吸引瓶から取り外してください(吸引瓶キャップを上側に持ち上げるようにすると、外れます)。取り外す際は吸引瓶を保持して、強い衝撃や落下などに注意して取り扱ってください。

③吸引物を捨て、付着した吸引物の凝固を防ぐため、速やかに洗浄を行ってください。温水で洗浄する場合は60℃以下で行ってください。吸引瓶キャップ側にも吸引物が付着している場合は同様に洗浄してください。

④洗浄後、滅菌または消毒を行って、よく乾燥させた後正しく組立て、次回の使用に備えてください。組立ての際は、部品の付け忘れ、紛失にご注意ください。(高圧蒸気滅菌はできません。消毒剤選定の際は右図を参考に、材質に合った消毒剤を選定してください)

⑤本体の外装部は、水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。(クレゾール、ヨードホルム、アルコール系、両性界面活性剤等の消毒剤で清拭しないでください。ヒビ割れの原因になります。)



【保守・点検に係る事項】

<滅菌・消毒について>

- ①吸引瓶および吸引瓶の付属品は、分解・洗浄後エチレンオキサイドガス (EOG) 滅菌または消毒剤による浸漬消毒をしてください。吸引器頭部 (吸引瓶キャップ等) の滅菌を行う場合は、エチレンオキサイドガス (EOG) 滅菌を行ってください。(吸引器頭部は消毒剤による浸漬消毒はできません) EOG 滅菌を行う場合は50℃以下で行い、滅菌後十分にエアレーションを行うなど、残留ガスには十分ご注意ください。
- ②消毒剤による消毒の際には医療従事者の判断のもと、適した消毒剤を選択し、用法・用量を必ずお守りください。また、消毒後滅菌水などですすぎ洗いし、よく乾燥させてから清潔な場所に保管してください。なお、金属部の腐食を起こす次亜塩素酸ナトリウム系、ポビドンヨード系のご使用は避けてください。また、金属部の腐食やゴム類に劣化を起こす過酢酸のご使用や、樹脂に劣化を起こすフェノール系、両性界面活性剤系、アルコール系のご使用も避けてください。グルコン酸クロルヘキシジン (ヒビテン液など)、逆性石けん類 (オスバン液など) などの樹脂にやさしい消毒剤をおすすめいたします。

<使用者による保守・点検>

点検項目 (日常点検)

- 1) 外観の点検 (破損・汚れ・部品の紛失・接続部の緩み・ガラス瓶のヒビ・打痕など)
- 2) Vシールが正しく取り付けられているか確認してください。
- 3) 接続部やコックに緩みがないことを確認してください。
- 4) コックの動きが正常で、指で吸引ホースを折り曲げ、真空計の指針がスムーズに変動することを確認してください。
- 5) バンドクサリ付のリングに伸びや変形がないこと、3重のリング全てにクサリが掛かっていること (クサリがリングから外れていないこと) を確認してください。

点検頻度：使用前に点検

点検項目 (保守点検)

日常点検の項目に加え、各部品に変形や劣化がないかなど、より詳しく本器の状態を確認してください。

点検頻度：3ヵ月に一度

点検により異常が発見された場合には、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者に点検・修理を依頼してください。

<業者による保守・点検>

点検項目 (定期点検)

本器は薬機法で定められた特定保守管理医療機器です。突然の故障を未然に防止し、安全にお使いいただくため、2年に1度の製造販売元または医療機器修理業者による定期点検の実施をお願いしております。定期点検では、ゴム製部品などの消耗部品の交換のほか、機能・性能点検を行います。また、必要に応じて消耗部品以外の劣化の進んでいる部品の交換を行います。(有料となります。点検周期については当社推奨)

点検頻度：2年に一度

消耗部品の交換について

パッキン、フロート、吸引瓶、ホース類は消耗部品です。劣化や変形が見られる場合には、速やかに当社純正部品に交換してください。交換部品については販売店へご連絡ください。また、パッキン等のゴム製品およびプラスチック製部品は経年劣化しますので、定期点検を必ず受けてください。

修理について

お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者で修理を行ってください。

～お願い～

本器を修理として戻される場合には、滅菌または消毒を行った後にお戻しください。なお、感染症等の恐れがある場合にはお受け取りできませんので、あらかじめご了承ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：株式会社 Sanko Medical

埼玉県さいたま市西区中釘 652 番地 048-624-8121

【使用上の注意】*

<重要な基本的注意>

- ・機器及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
- ・機器及び患者に異常が発見された場合には、使用を中止すること。
- ・吸引ホースが折れ曲がらないように注意すること。
- ・振動や衝撃等を与えないこと。
- ・吸引瓶(ガラス製)を洗浄する際、金属たわしや研磨剤入りの洗剤等は、キズが付くおそれがあるので使用しないこと。
- ・長期間使用しない場合は、本器に付着している汚れ等を乾いた布等で拭き、ビニール袋等に密封して、高温・高湿、有毒ガス等の発生しない場所に保管すること。
- ・長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用すること。
- ・吸引瓶キャップを吸引瓶に取り付ける時、または取り外す時や洗浄時等に瓶を落下させたり、衝撃を与えたりしないよう十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管してください。
- ・傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。
- ・吸引瓶および吸引瓶の付属品は、洗浄・消毒後よく乾燥させて、ちり・ほこりが入らないよう、清潔な場所に保管してください。

<耐用期間>

本器の耐用期間は、購入後7年です(当社データによる自己認証)。ただし、推奨された環境で使用され、次の「保守・点検に係る事項」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。